

7月定例自然観察会実施報告書（柏尾谷）

2019年7月16日

山田 雄二

■概要：

実施日：2019年7月14日（日）曇り一時雨（梅雨時で天気予報も目まぐるしく変化）

集合場所：箕谷駅前バス停 9時30分（4班員は8時45分集合）

ルート：箕谷駅前バス停～天津彦根神社～柏尾谷キャンプ場跡地～天津彦根神社（解散）

参加者：ビジター23名（内ローキング会から12名）

会員19名（内4班員は17名）

合計42名

参考：自主研修会（7月7日）は参加者46名（内4班員14名）

■詳細：

数日前から14日当日の予報が雨だったが前日には曇りに変わり何とか実施できそうだと思われた。しかし不安定な天気が続いていたので参加者が集まるかどうか？そして予定している柏尾谷キャンプ場跡から更に上流の滝を見に行けるか？いろいろな不安が渦巻いていた。当日朝神鉄箕谷駅は霧雨が舞う状態で非常に不安定な天候だ。箕谷駅での誘導永田さん、バス停での誘導宇野さんは待機してもらい残りの4班員はトンネルの処へ移動して打ち合わせをする。会員受付は中村さん、ビジター受付は辻さん、大西さん、川井さんをお願いした。この頃には霧雨は上がり、曇り空となったためむしろ晴天より観察会には好適だ。天候も悪い事からあまり参加者も多くならないだろうとの判断でビジター4班集体での実施にした。また会員の案内は松原さんをお願いした。

1班：リーダー長尾さん、サブリーダー中村さん

2班：リーダー竹上さん、サブリーダー大西さん

3班：リーダー藤原さん、サブリーダー陽川さん

4班：リーダー湯浅さん、サブリーダー宇野さん

ローキング会の方が12名、その他ビジターの方11名合計23名の方が参加された。一班5～6名ほどの計算となり説明しやすい人数だ。



トンネル内での打ち合わせ



ジャコウアゲハ幼虫

トイレの問題、そして天候によってはキャンプ場跡地で食事後上流に上がらずに引き返す判断も安全上ある事を告げ1班から順次出発した。まずトンネル脇に自生しているウマノスズクサにジャコウアゲハが産卵しており終齢幼虫や蛹（お菊虫）もあったのでその観察から始まった。川沿いにあるソクズ（クサニワトコ）、ピロードモウズイカなどの観察。柏尾台の看板を右折した後シラカシの実、ナナミノキの実の対比、スギ、ヒノキの球果の比較、イヌザクラ、ウワミズザクラの葉の比較観察。その後新大滝口橋の川沿いの地形が見える場所で田丸さんからこの地域の地形について説明があった。



新大滝口橋上での地形説明（田丸さん）

天津彦根神社の歴史と農村舞台説明（田丸さん）

天津彦根神社には予定より25分ほど遅い到着だ。ここで給水休憩と神社の歴史、農村舞台の説明が田丸さんからあった。ここには仮設のトイレ（非水洗）があり当初緊急避難的に使えるとの認識だったがやはりあれば助かるものだ。今回、往路、復路共利用者がそこそこあった。1班、2班、3班のグループと4班と会員班の2回に分けて神社の歴史と農村舞台の説明を行った後、終わった班から順次柏尾谷に入る。マユミ、コマユミ、ツリバナ、ムラサキシキブ、ウツギ、タニウツギ、マルバウツギ、タカノツメ、ハナイカダなどの落葉広葉樹やヤマトウバナ、トウゴクシソバタツナミ、ミカエリソウ、フタリシズカなどの草類など各班それぞれリーダーの説明やサブリーダーの補助説明があり下見時よりもむしろ短時間でキャンプ場跡地に到着する。



長尾班説明風景

竹上班説明風景

予定では12時15分着のところ12時10分に到着した。しかし雨が降りだしたため開けた場所では

雨に濡れるため木立の中で食事をする事になった。天候が回復するようであれば更に上流の滝まで行きたかったが雨で岩が滑りやすく安全のため食事後13時には来た道を引き返す事にした。結局14時には天津彦根神社に到着しそこで解散とした。

感想：

今回の観察コースは植生的には面白いコースだが梅雨時の観察コースとしては川沿いのための危険性があり別の時期のほうが良かったと思われる。しかし逆に箕谷駅前バス停から柏尾谷入口までは曇り空で熱中症の心配もなく楽に歩くことができた。

ビジターのみなさんには悪天候のため予定を変更し早く引き返す事になり申し訳なかったが安全第一を考えた結果だ。また今回雨の為昼食をゆっくり食べられなかったが昼休憩時に屋根のある場所を設定しておくことは今後の定観では重要な要素として考慮すべきだと思われる。

そして今回の大きな収穫は新しいインタープリターとして藤原さん、湯浅さんがデビューした事だ。自分の感じた感動を素直に人に伝え共に楽しむことができたと思う。



湯浅さんの説明風景



藤原さんの説明風景